



「古井地区多文化共生推進座談会」が始まりました。多文化共生の課題についての現状と課題の整理を行い、一緒に課題解決に向けての意見交換をしています。

日本とブラジル より身近な国に

習慣・文化の違い

共に暮らしていくためには、お互いの文化・習慣を知ることが大事なことです。皆さんに日本とブラジルの習慣の違いを紹介します。

ごみの分別

ブラジルでは、ごみの分別は限られた地域の公衆のごみ箱で行われていますが、家庭用のごみはほとんど分別されず、分別するという習慣はまだありません。

ピアス

ブラジル人の児童・生徒がピアスをしているのをよく見かけますが、女性は赤ちゃんの時からピアスを付ける習慣があります。そのため学校でもピアスやネックレスは自由であり、ブラジル人から見れば、日本には厳しい規制があると感じられています。

教会

市内でよくブラジル人が集まっている光景を目にしますが、集まっている人の多くは教会に通っ



大里誠治さん(おおさとせいじ)

1967年ブラジル・クリチバ市で生まれる。1998年JETプログラムにより、(財)岐阜県国際交流センターに国際交流員として勤務のため来日。2001年の4月から美濃加茂市の国際交流員として活躍中。

ている人たちです。日曜日には教会に行く習慣があり、多くのブラジル人にとって「心のよりどころ」となっています。

教育の違い

ブラジルの学期はだいたい2月から12月までで学校によって違いがあります。授業の時間は午前か午後の半日で日本の学校のように長くはなく、半日制のため給食もありません。おやつの時間があり、学校などの売店で買って食べます。ブラジルでは、清掃員が学校の掃除や街などを清掃するため、掃除当番はありません。また、日本で行われているような清掃奉仕活動などはあまりないため文化の違いを感じているところです。

職場での違い

ブラジルでは、家の中でも土足なので、その影響かもしれません。家を出て帰るまでは基本的には靴は脱がず、職場でスリッパに履き替えるような習慣はありません。「縦社会」は強くなく、「先輩」「後輩」という呼び方や上司や同僚を職名で呼ぶこともありません。上司でもフアーストネームで呼ぶのが普通です。日本では、まとめて休暇を取る人は少ないと感じますが、ブラジルでは2週間〜1ヵ月まとめて休暇を取ります。

より身近な国に

移住者の子孫は、ブラジル移住100年の歴史の中で、「正直」「誠実」「勤勉」という評価を確立してきました。インターネットなどの情報通信の発展により、日本の情報は簡単に入手できるようになり、日本のドラマやアニメなども大変人気で関連商品も多く販売されています。日本料理は、ヘルシーという評判で、健康志向が高まっているブラジルでは人気となっています。

一方、市内では、多くのブラジルの店を見かけるようになり文化もより身近なものとなっています。「クリチバ」という看板を見かけますが、この名前はブラジルのクリチバ市から名付けられたものです。この「日本人移住100周年」を機に、より身近な国になるように日本人・外国人が互いの文化、習慣などをもっと知り、お互いの理解を高め、地域の「多文化共生」に結び付けるようになれば大変良いと思います。



顔の見える関係づくり

地域で共に暮らす

当市には、多くの外国人が暮らしており、学校や仕事に通ったり、買い物に出掛けたり、日本人と同じように暮らしています。一緒に暮らしていく中で、文化・習慣の違いから日本人と外国人との間でさまざまな課題が生じています。その代表がごみの出し方です。日本と外国では、ごみの出し方についてのルールが異なります。外国人が、地域で暮らしていく上で、日本のごみの出し方を理解する必要があります。日本人は日本でのごみの出し方について説明する必要があります。

ごみの出し方を例に挙げましたが、日本にきた外国人の多くは、日本とは違う文化・習慣の中で暮らしてきたので、理解や認識に違いがあるのも当然かもしれません。まずは、お互いに違いがあることを知り、理解し、コミュニケーションをとることが、誰もが暮らしやすい地域づくりを進めるためには、必要なことと思われます。

多文化共生推進座談会

市は、市内でも外国人が多く暮らす古井地区で「多文化共生推進座談会」を開催しています。

地域で抱えている課題を、地域の人たちが集まり、外国人と一緒に話し合い、解決策を見い出していこうとしています。話し合いを重ねる中から新たな発見が幾つも出てきています。

今後は、地域で開催されるさまざまな行事に、日本人も外国人もすべての人が参加しやすいように工夫することで、お互いの理解が深まるとともに、地域の結び付きが強くなれると思います。

最近ブラジル人のほか、フィリピン人や中国人も増えています。日本語で、一言ずつ、ゆっくりと話しかければ、きっと気持ちよくなると思います。

「顔」が見えるから「安心」。気軽にあいさつをし合えるまちづくりができればと思います。